

「グローバルCOEプログラム」ヒアリング実施要領（案）

1. 目的

「グローバルCOEプログラム」の教育研究拠点（以下、「拠点」という。）を選定するため、分野別審査・評価部会の各部会において、「将来構想等調書」、「拠点形成計画調書」、「教育研究活動調書」の内容等について、当該申請した学長等及び拠点リーダー等に対しヒアリングを行う。

2. ヒアリングの進め方

(1) 時間の配分

- | | | |
|------------------------------------|---|-------|
| ① 学長等及び拠点リーダー等からの説明・・・・・・・・・・15分以内 | } | 45分以内 |
| ② 質疑応答・・・・・・・・・・20分以内 | | |
| ③ まとめ・・・・・・・・・・10分程度 | | |

※ 時間の配分は、一応の目安であり、進捗状況によって、適宜変更する。

(2) 説明者

- ① 説明者は、申請内容等について責任をもって説明できる者とする。
- ② 出席者は、拠点毎に、原則として学長（又は副学長）、拠点リーダーを含め4名以内とする。

(3) 説明内容及び資料

「将来構想等調書」、「拠点形成計画調書」及び「教育研究活動調書」に基づき、拠点形成に向けて特にアピールしたい点（説明事項は任意とする。）について、説明することとする。また、ヒアリングに際し、事前に各部会から、書面審査結果等に基づき、個別に質問事項が提示された場合は、それらを含めて説明することとする。その際、別途、図表等の資料を用いる場合は、必要最小限のものとする。

3. ヒアリングに当たっての留意事項

- (1) 拠点側の説明（15分以内）が終了してから、質疑応答を行う。
- (2) 「質疑応答」（20分以内）では、効率性の観点から、書面審査結果及び拠点側の説明等でさらに明確にする必要があると思われる点等を中心に、端的かつ簡潔に質問することとする。
 なお、「将来構想等調書」、「拠点形成計画調書」及び「教育研究活動調書」に記載されている内容を改めて質問することはできる限り避けることとする。
- (3) 各々のヒアリング終了後、拠点側からの説明や質疑応答を踏まえ、部会として合議により、ヒアリング結果をとりまとめる。
- (4) 拠点側の説明15分、質疑応答20分は厳守し、拠点側の説明が15分以内で終了しても、残り時間を質疑応答の時間に振り替えることはしない。

4. ヒアリング出席者の注意事項

- (1) ヒアリング説明者は、進行状況により開始時間が早まることを想定して、当該申請ヒアリング開始時間30分前にヒアリング会場前に参集すること。
- (2) 説明時間が限られているため、説明はできるだけ簡潔に行うこと。

- (3) ヒアリング会場には、液晶プロジェクター、パソコン(Windows)及び接続ケーブル(D-sub 15ピンケーブル、3列ピン)が用意してあるので、説明時に利用できる。
- (4) ヒアリング時に使用する追加説明資料がある場合は、ヒアリング当日に必要な部数(整理の都合上A4判サイズとする)を用意すること。(詳細は別途通知することとする。)
- (5) ヒアリング内容の録音及び録画は、禁止する。

4. ヒアリングに係る事務担当

独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究事業課

グローバルCOEプログラム委員会事務局

〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地一番町FSビル7階

TEL : 03-3263-0985

FAX : 03-3237-8015

E-mail : globalcoe-jsps@jsps.go.jp

